

## プリュメタの歴史

1923年、エミール・プルメタツは、スイスのVevey（ヴェヴェイ）市にて、3人の従業員で会社を設立しました。エミール・プルメタツは、ネスレ社の凝縮牛乳工場の機械部門で長年働いていました。独立後の最初の顧客は、そのネスレ社でした。

新しい会社は、食品加工業界向けのプロトタイプの機械設計、開発、製造を始めました。これには、チーズやチョコレート菓子の包装機やチェリーピットマシンなどの設備が含まれていました。試作機械の市場は限られていたため、同社は一般機械請負業務も開始しました。

1929年、従業員数は15人に増加しました。その後、1930年の不況は、食品機械産業にも襲いかかってきました。会社存亡の危機に接し、生き残るために新たな仕事を発掘する必要がありました。この時、急なスイスの丘陵地帯で葡萄の栽培を機械化するには、モーター付きのウインチを使用することで解決策を提供しました。電動ケーブルウインチで引っ張ることができる一連の耕運機を設計し製造することによってこの市場は、拡大しました。1945年までは、スイス市場に限られていた。

1943年、エミール・プルメタツの息子フェルナンドが加わり、PLUMETTAZ & Cie を設立し、下記の新製品を展開しました。

- RUEDIN 社によって作られた新しい軽量のブドウ園用ウインチ。
- ツインキャプスタンの原則に基づいたまったく新しいタイプのウインチは、もともとワイン生産者である E. LEDERREY 氏によって考案されました。
- セントラルヒーティングシステムとトランスの循環ポンプの製造。

この間、同社のすべての製品に使用されている商標に「PLUMETT」が採用されました。

ドラムとキャプスタンウインチの開発は、会社のノウハウとなり、絶えず拡大する製品ラインの核となりました。軽量で丈夫で信頼性の高い機器への要望は、特殊な材料と新しい駆動システムのコンセプトを組み合わせた独自のソリューションをもたらしました。標準的コンポーネントが完全に満足できない場合、同社はコンポーネント自体を設計し製造しました。

1946年以來、同社は急速に成長し、特にフランスのブドウ園市場に輸出を拡大しました。

1947年までに、Vevey（ヴェヴェイ）市の工場は一杯になり、Bex 市の新しい工場へ移りました。同社は「PLUMETTAZ S.A.」になりました。従業員は40人に増加しました。同社は新しい自走式ウインチを追加し、後にトラクターを取り付けたウインチとなりました。

1960年、新たな問題が発生しました。不利な為替レートのために、フランス市場は大幅に減速しました。同時に、ブドウ園設備のスイス市場は、新しい栽培方法のために、飽和したり小さくなったりしていました。

ウインチ製品のために重要な改良と新しいアプリケーションを開発しなければなりません。これには、林業に使用された2トンのキャプスタンウインチ、ポータブルバージョン、ジープやランドローバーなどの実用車に搭載されるモデルが含まれていました。

キャプスタンのウインチには、ドラムのウインチと区別する重要な機能があります。ドラムは引っ張りではなく保管のためだけに使用されるため、ケーブルの長さに関係なく、ライン引張りと同速度は一定のままです。

キャプスタンウインチの重要なユーザーは、公益事業、土木工学、軍隊です。電気通信およびユーティリティ産業は、地下ケーブル設置にとって特に重要な成長市場です。他の一般的な用途は、停車した車両や損傷した車両（タンクを含む）の回収、レール上の車両の移動、ログの運搬、急勾配のスキー場の維持に使用される「スノーキャット」の運転支援です。



PLUMETTAZ S.A.

1980年に、PLUMETTAZは、Tranquart または Quadrant Drive と呼ばれる新しい特許のハイポサイクロイドギアボックスを開発および製造する独占的ライセンス契約を締結しました。新しいデザインは優れた重量対性能比を持ち、バックラッシュを最小限に抑えて最大1：1000の非常に高い減速比を達成することができます。クアドラントドライブの特に大きなユーザーは、世界中の高層ビルで使用されるスイングステージの米国メーカーであるPOWER CLIMBER Inc.です。同社は現在、これらのユニークなトランスミッションのためのいくつかの他の重要なアプリケーションに取り組んでいます。

ケーブル T.V. システムを含む電気通信用の光ファイバーケーブルの出現に伴い、これらの敏感なケーブルの設置と設置のための完全な新しい機器ラインを開発しました。オランダのPTTが開発した新しい「ケーブルジェット」システムの独占的な世界ライセンスを取得しました。新しいシステムは、数マイルまたは数キロメートルまでの距離を、圧縮空気を使用して、連続した長さのファイバーオプティカルケーブルをダクト内に“フローティング”で敷設できます。

同社は変圧器油循環ポンプのレンジと性能特性を継続的に拡張してきました。彼らのポンプの重量とサイズの性能比の改善を通じて、彼らは鉄道エンジンの大手欧州メーカーの主要サプライヤーとなっています。

開発され生産された主な設備は、エネルギーケーブルと通信ケーブルの地下ケーブル敷設用のウインチとケーブルフィーダ、軽い架空線建設のために設計された機器、光ファイバーと従来の通信ケーブルの設置用ジェット装置です。

PLUMETTAZ S.A. では、プラットホーム用の遮断機、オイル循環ポンプ、クワッドドライブ用のホイスト、レベル交差ゲート駆動機構などのOEM製品（OEMメーカー）もあります。

この製品は世界中の60カ国以上で販売されており、いずれも「PLUMETT」の商標で使用されています。

以上